



お

や

け

き

摂南大学広報誌

特集

- 外国人留学生座談会 P.02
- 「就カツ」保護者セミナー開催 P.15
- 就職内定者インタビュー P.16

2020 MAR
No. 12

Halo

インドネシア

ジェシカ ナディア フィトヤム

理工学部 都市環境工学科 1年

ニックネーム **ジェシカさん**

高校卒業後、日本語学校を経て本学へ。
日本の治安の良さに惹かれたのが留学のきっかけ

好きな日本語 **新しい**

特集

外国人留学生座談会

もっと知りたい！

摂南大学で学ぶ、外国人留学生

本学では現在、11の国および地域から32人(2020年1月末)の外国人留学生が学んでいます。
「夢を実現するために、日本で、摂南大学で学びたい!」と熱い思いを抱いてやってきた留学生たち。
今回はその中の6人に話を聞いてみました。

表紙で留学生たちが掲げているのは、それぞれの国の「こんにちは=Hello」を意味する言葉。

キャンパスや教室で留学生を見かけたら、まずは気軽に「Hello」と
声を掛けてみるそこから始めてみませんか?

Xin chào

ベトナム

グエン クアン アンさん

経営学部 経営情報学科 1年

ニックネーム **アンさん**

高校卒業後、日本語学校を経て本学へ。
マーケティングを学び、
自国の発展に貢献することが目標

好きな日本語 **一期一会**

——大学の中で好きな場所は?

カクさん 第1グラウンドです。毎日ラグビーの練習に打ち込んでいます。

ヴィリーさん 食堂です。練習後、部員みんなで食べるのが楽しみ。栄養もボリュームも満点でおいしい!

リリさん 校方キャンパスの721教室。窓から見た夕暮れの桜が周りの緑とともにパーフェクトな美しさでした。

——留学生活で成長できたことは?

ジェシカさん ひとり暮らしで自立心が芽生え、日本人の考え方を理解する中で自分の幅が広がりました。

カクさん 僕もいろいろな立場の人の意見を聞き、自分と向き合って深く考えるようになりました。

リリさん 日本で看護のあり方について学び、患者さまとの対話をより大切にしたいと考えようになりました。

——日本に来て驚いたことは?

ヴィリーさん フィジーには電車がなかったので新鮮でした。新幹線に乗った時はスピードに

哈囉

台湾

カク ブンケイさん

法学部 法律学科 3年

ニックネーム **カクさん**

ラグビー部所属。
スーパーラグビー2020に参加する
日本チーム「サンウルブズ」の
トレーニングスコッドに選出

好きな日本語 **真剣**

感激しました。

アンさん 自動販売機の多さ。ベトナムでは対面販売がほとんどなので。

ブラックさん 梅田の迷子になりやすさがヤバイ! 難波なら方角も分かりやすいんだけどなあ(笑)

ジェシカさん ラッシュアワーの混雑! ゴミ分別の厳しいルール(笑)

リリさん 大きな花火大会があちこちであること。天神祭にも行って花火を楽しみました。

Bula

フィジー

ツイドラキ ヴィリアミ ヒライナシカさん

法学部 法律学科 2年

ニックネーム **ヴィリーさん**

ラグビー部所属。
2018年度リーグ入替戦でカク選手とともに
に大活躍を見せAリーグ復帰に貢献

好きな日本語 **当たり前**

カクさん 私は京都の鴨川で着物を着て花見をしました。日本の美しい景観が好きです。

アンさん 京都、東京、横浜、箱根に行きました。日本は素晴らしい観光地がたくさんありますね。

リリさん 日本はどこも衛生的で人も親切。日本の食べ物ではお寿司や焼き肉が好き。ワサビは苦手ですけど(笑)

ブラックさん 僕は大好きな大阪に住みたかったのが摂南大学への留学の理由の一つ。串

留学生による交流活動



PBL「異文化理解・交流を通じた地域貢献プロジェクト」では支援学校を訪れ、ラグビー部員が生徒と一緒にバスやリフティング、「ハカ」ダンスを通して交流活動を行いました。



学園設置学校の常翔啓光学園高校1年生対象の異文化理解の授業に参加。母国語でのあいさつの後は、ゲームやクイズを通して文化交流を深めました。

Hej



スウェーデン

ゴルグル ブラックさん
外国語学部 外国語学科 1年

ニックネーム **ブラックさん**
トルコをルーツに持ち、日本語学校を経て
上海に半年間留学後、本学へ。中国語を専攻

好きな日本語 **言うまでもない**

你好



中国

張 麗麗さん
看護学研究科 看護学専攻 1年

ニックネーム **リリさん**
中国の大学を卒業後、
日本で5年間看護師として勤務し、
本学大学院へ。

好きな日本語 **己の欲やざる所は
人に施す勿れ**



留学生ウェルカムパーティー

昨年4月16日、留学生、教職員、留学生サポーターの学生
など約50人が参加し、親睦を深めました。

カツが大好き。納豆は無理だけど(笑)

——将来の目標は？

ブラックさん 専攻の中国語のほかスペイン語
も自主的に勉強中。スウェーデン語、トルコ
語、英語、日本語と語学力を活かして、将来は
貿易の会社を起業したい。

ヴィリーさん トップリーグで活躍し、ラグビー
日本代表選手を目指したいです。

カクさん 日本で就職しプロラグビー選手に
なること。日本語能力試験 1 級の勉強も続け
ています。

リリさん 日本で得た訪問看護のノウハウを
中国で活かしたいです。

アンさん 大学院に進学しマーケティングの
専門性を究めたいです。

ジェシカさん 日本の安心安全を支える街づくり
を学んで、自国で活かしたいです。



国際交流センターでは 教育のグローバル化を積極的に推進しています

相次いで海外の大学と協定を締結

国際交流センターでは協定校開拓に力を注いでおり、今年度も新たに、韓国の崇実(スンジル)大学校、明知(ミョンジ)大学校、アメリカのエンボリア州立大学と相次いで、学術交流ならびに学生交換に関する協定を締結しました。韓国の2大学は、教育レベルの高いことで知られるソウル市内の大学との協定締結となります。

今後、これら協定校とさまざまな交流を深めていきますが、特に留学を考える学生にとっては優先的な留学受け入れ、授業料や滞在費などの減免、授業や研修内容の充実など、多くのメリットがあります。さらに、本学も各海外協定校から交換留学生を受け入れますので、全ての在在学生にとって留学生との交流の機会が増え、キャンパス内で国際的な視野と教養を身につける機会が一層充実します。



明知(ミョンジ)大学校(韓国)

海外で学び、自分を大きく成長させよう

昨年秋に開催された「ラグビーワールドカップ2019」は記憶に新しいことでしょう。日本人のほとんどがグローバル化の波や国際交流の素晴らしさを実感したのではないのでしょうか。今年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」、2025年の春から秋にかけては「大阪万博」の開催と、大きな国際的イベントが今後も続きます。まさに私たち日本人が、グローバル化について、自ら動き学んでいくべき時が来ているのではないのでしょうか。学生にとっては、若い今こそ、海外に出て自分を磨く絶好の機会です。

国際交流センターでは、各種交換留学や語学研修、文化体験などの海外派遣プログラムを整備しています。多くの実績があり、本学が留学のための費用や準備に関するサポートをするので、安心して参加できます。海外での貴重な体験は、就職活動にも活かすことができます。

協定校との交換留学は、半年から1年の期間の実施で、海外留学先大学の学費が免除されます。夏や春の休暇中に短期で実施する、カナダ、台湾、韓国、タイ、マレーシア、フィリピン、サイパンなどへの、語学研修・文化体験プログラムもあります。3月には、フィリピン英語研修、サイパンリーダーシップ研修、台湾中国語研修に多くの学生が参加しています。

海外留学に関する疑問や悩みがあれば、本センターに相談してください。すぐに海外に行かなくても、学内にいる外国人留学生と交流できるイベントも紹介しています。



マレーシア研修

留学生は「摂南の宝」です

数ある国の中から日本を選び、数ある大学の中から摂南大学を選んでくださった留学生の皆さんは、本学にいる全ての人にとっての宝です。言葉や文化の違いを乗り越えて共に学び、語り合い、時間を共にする経験はとても貴重で、そう簡単には手に入らないものです。今まさに異文化の中で学んでいる皆さんは、多くの摂大生にとって一番身近なお手本であり、先生であり、同志です。皆さんが本学で夢を叶えられるよう、国際交流センターがお手伝いします。何かあればいつでも気軽に相談に来てください。

国際交流センター長 鳥居祐介(外国語学部教授)



卒業生・新入生に贈る

『Society5.0時代を生き抜くー学び続ける力ー』



学長
荻田 喜代一
Ogita Kiyokazu

近年、我が国がSociety5.0(右下表を参照)という新たな時代を迎えることは衆目の一致するところ。Society5.0時代とは、人工知能(AI)、IoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会生活に取り入れる時代であり、人類社会の発展の歴史において、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新しい5番目の社会を迎えることを意味します。では、Society5.0時代を生き抜くためにはどのような学びが必要なのでしょう。文部科学省『Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会』(2018年6月)では、「AI等と共存していく社会の中で、人間の強みを発揮しAI等を使いこなしていくためには、文章や情報を正確に読み解き対話する力や科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力が共通して求められる」としています。また、日本経済団体連合会(経団連)『採用と大学教育の未来に関する産学協議会』(2019年4月)では、「Society5.0時代の人材には、文系・理系であることを問わず、リテラシー(数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力など)、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められる」とあります。このような社会状況の中で、摂南大学では建学の精神「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」のもと、大胆な全学的教育改革を行っていきたくと考えています。

新入生の皆さんには、「今こそ、本学において『何を学び、何を修得するのか=何を学修するのか』を考えるときである」と申し上げたい。本学には、世のため、人(他者)のため、自ら課題を発見し解決できる能力を身につける多くの「学び場」があります。また、卒業後も、会社、地域社会、国際社会で多くの「学び場」が待っています。

新しい環境の中での学びには不安があるかもしれません。そこで、ロシアの文豪ドストエフスキーの言葉を贈ります。「粘り強さを持った人は必ず、いつかは力をつけるものである」「失敗をしない人などはいない。勇気を出して自覚を高めて挑戦すること。これがあなたに必要なことである」(『ドストエフスキー全集』第17巻書簡集小沼文彦訳 筑摩書房刊)と。『勇気』こそが、学びに最も必要な要素です。大学や社会に広がる多くの「学び場」に勇気を持って飛び込んでいただきたい。そして、Society5.0時代を生き抜くために、学び続けることに勇気を持って挑戦していただきたい。必ずや『道』は開けると信じています。



Society 5.0は、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指す。※内閣府Webサイトより引用

index

外国人留学生座談会

もっと知りたい!

摂南大学で学ぶ外国人留学生 02

学長挨拶 04

摂南大学の特色ある取り組み

交流事業 05

学生生活 06

環境保全 08

学部TOPICS

法学部・外国語学部 09

経済学部・経営学部 10

理工学部 11

薬学部・看護学部 12

農学部 13

情報教育支援・研究支援 14

就カツ

「就カツ」保護者セミナー開催 15

就職内定者インタビュー 16

後援会

保護者のための教育懇談会 18

奨学金説明会日程 19

国内外で感染の広がりをみせている新型コロナウイルスを原因とする感染症への対応について、本学では、全学生・教職員への感染リスクを最小限にするべく、最新情報の入手と注意喚起に努めてまいります。今後予定している各行事等につきましては、状況を注視しつつ、その動向・変化に応じて変更となる可能性があります。新しい情報は本学ホームページにて随時お知らせします。

摂南大学の特色ある取り組み

交流事業

Exchange Program

地域交流

令和初の総務省「ふるさとづくり大賞」 団体表彰(総務大臣表彰)を受賞!

和歌山県「大学のふるさと」活動

—和歌山県すさみ町、由良町での活動を評価—

摂南大生の若い力で府県の枠を超え過疎地を活性化

本学は1月、総務省の令和元年度「ふるさとづくり大賞」団体表彰(総務大臣表彰)を受賞しました。本賞は全国各地で「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰するもので、今年で37回目を迎えます。

本学の活動を評価する和歌山県の推薦を受け、今回の団体表彰13件中、大学としては唯一の栄えある受賞となりました。

本学では、県外都市部の大学と、過疎化や高齢化で地域課題を抱える県内の市町村をマッチングする和歌山県独自の「大学のふるさと制度」(愛称・大ふる)を活用。学生たちが、すさみ町で休止していた伝統行事「佐本川柱松(祭り)」の復活や高齢者の見守り活動を、由良町ではフィールドワークや特産物を活用した商品の企画・PRなど地域課題の解決に向けた取り組みを展開しています。



前田副学長(左)と
浅野地域総合
研究所長



由良町での
世代を超えた
交流



すさみ町の
お宅訪問では
お互いに
笑顔いっぱい

府県をまたいで地域と連携を図り事業を継続させる中で、大学が交流促進のハブとなった優良モデルであると評価されました。

1月24日には、都市センターホテル(東京都千代田区)で表彰式が行われ、前田定秋副学長とすさみ町での活動を当初から指導・支援している浅野英一地域総合研究所長が出席し、全国からの受賞団体と交流しました。

大学がある寝屋川市と県南部のすさみ町は友好都市関係にあり、2009年秋に当時の町長から「過疎地を若い学生の力で元気にしたい」との強い要請を受け、翌年春に連携協定を調印。以来、過疎化が進む佐本地区で学生が廃校舎を拠点に地域に入り込み、高齢者の悩みを解決する「なんでもやる隊」活動を

続けており、県の「大ふる」創設の際のモデルケースとなりました。

毎年、両町で延べ1000人を超える学生が住民らと交流。世代間の「交流力」を身に付け、自ら課題を見つけ解決方法を学び成長を遂げています。卒業後の進路として、両町で町職員として働く道を選んだ学生も5人を数えます。

すさみ町での活動10年、由良町での活動5年の節目を迎えての全国レベルの大賞受賞は、学生の活動を温かく支援し続けていただいている地域住民、町役場職員、県職員の皆さんとの「協働」があって「こそ」の団体受賞です。本学では今後も両町での活動を続けていきます。

「SDGs Festa@北河内」を開催 —“祭りのあとの過ごし方”を考える—

教育イノベーションセンターは昨年11月9日、寝屋川キャンパスで「摂南大学第2回教育イノベーションフォーラム『SDGs Festa@北河内』」を開催しました。

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連加盟国193カ国が合意した、17の目標と169のターゲットを指します。その基本理念は「No one will be left behind—誰一人取り残さないこと—」であり、地球に生きるメンバー全員が認識すべき課題と言われています。昨今では教育機関においても、SDGsを教育に取り入れる、または組織全体でアクションを起こすことが求められています。

本フォーラムは、行政、企業、地域の方などが一堂に会して、SDGsの意義とそれぞれの立場

でできるアクションについて学ぶと同時に、SDGsへの取り組みをきっかけに「北河内からイノベーションを創発する」を目的に開催。当日は約120人が参加しました。フォーラムは広瀬慶輔寝屋川市長による開会宣言でスタート。第一部では、経済産業省近畿経済産業局の坂本りっか氏による基調講演として、「SDGsとは何か」「企業が無視すべきでない3つの理由」「事例紹介」について解説があり、SDGsへの理解を深めました。

第二部では、SDGsをビジネス発展につなげるワークショップ「Business×SDGs」、SDGs達成のための教育・研究事例の報告「Academic×SDGs」、カードゲームでSDGsを理解する「Citizen×SDGs」など分科会形式で進行。参加企業からは「バリューチェーンの中での取り

組み」「既存事業を掘り起こした結果顕在化できたSDGsへの取り組み」「コア・コンピタンス(※)を活かしたSDGsの実践」などの話題の提供があり、活発なディスカッションは、文字通り「SDGsの祭り」さながらでした。

“祭り”を終えた私たちにはポスト・フェストゥーム(祭りのあと)の過ごし方が問われます。日々の教育活動を内省し「SDGsへの対応」を掘り起こすこと、新たな教育企画を創出すること、そして、日常生活の何気ない活動において「ターゲットを意識すること」など、できることはたくさんあるはずです。持続可能な社会の実現のために“本気でSDGsに取り組んで”いきます。

※コア・コンピタンス:顧客に対して、他社に真似できない価値を提供する企業の中核的な力



坂本氏による
基調講演



広瀬寝屋川市長による
開会宣言



身近に
できることを
ディスカッション

学生生活 Student Life

「2019年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ 近畿地区予選大会」で 経営情報学科鶴坂ゼミが優秀賞

昨年12月8日、本学寝屋川キャンパスを会場に開催された「2019年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ近畿地区予選大会」(社会人基礎力協議会主催)で、経営情報学科の鶴坂貴恵教授ゼミが優秀賞を受賞しました。本大会は経済産業省が定義した「人生100年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおける社会人基礎力教育の普及とその効果的な教育方法の研究促進を目的に開催。当日は学生や大学教職員ら約60人が参加し、6大学9チームが発表を行いました。

「まちづくりマーケティング」を主な研究内容に掲げる鶴坂ゼミは、「大阪府茨木市北部地域の課題解決を目指して」をテーマに発表。

地域農業の発展と都市と農村の交流活動を目的に同地域に設立された「見山の郷」の新規顧客開拓と魅力創出のために同市、同施設と協働で立ち上げた「いばきたプロジェクト」についてプレゼンテーションしました。発表ではプロジェクトを通じて父の日・七夕イベントが前回と比較し3倍以上増加した一方、売上は

横ばいで来店人数予測や材料調達に課題が残ったことについても触れ、「今回の経験を、PDCAサイクルを用いて継続していくことで社会人基礎力アップにつなげ、人生100年時代に失うことのない財産にしたい」と締めくくりました。

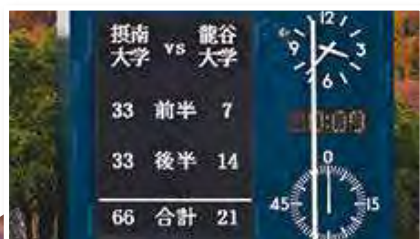


賞状を手に
笑顔の
鶴坂ゼミ生

ラグビー部 来季もAリーグ決定

全国大学選手権出場を目標に挑んだラグビー部(関西大学ラグビーAリーグ・全8大学)の今季戦績は、2勝5敗で7位の結果でした。昨年12月8日には、Bリーグ2位の龍谷大学との入れ替え戦に出場。66対21で勝利し、来シーズンのAリーグ残留を決めました。

ワールドカップでの日本代表チームの躍進を受けてさらに高まったラグビー人気。本学もラグビー部を応援するバスツアーを実施し、熱い声援を送りました。



2019年度「摂大文化大賞」決定!

図書館では、昨年12月12日に図書館寝屋川本館のラーニング・コモンズ・ステージにおいて、「摂大文化大賞」の発表と表彰式を行いました。

この賞は、学生の文化的創作活動を奨励するために設置しているもので、①文芸、②美術・工芸、③写真、④その他の4つの部門に毎年力作の応募があります。

今年度も9月～10月に募集し、計21点と前年度を上回る応募がありました。これら作品の中から、学生・教職員による投票と図書館運営委員会による厳正な審査により、2019年度「摂大文化大賞」は、小串祥子さん(生命科学専攻2年)の映像作品「47の風景」に決定しました。

そのほか各部門から優秀賞と準優秀賞が、また審査員特別賞として1点が受賞しました。さらに今年度新たに設けた「奨励賞」には、制作に取り組む熱意を評価し3点を選出、合計10作品が各賞に輝きました。表彰式では、福島徹図書館長が受賞者に、賞状と賞品を授与しました。



表彰式で
各受賞者
たちと



「摂大文化大賞」を
受賞した
小串さん

大学祭にぎわう!!

学生と教職員の一大イベント第45回摂大祭を昨年10月14日に寝屋川キャンパスで、第8回摂友祭を10月7日に枚方キャンパスで、それぞれ開催しました。

摂大祭には約4300人、摂友祭には約1700人が来場。いずれも、学生、卒業生、保護者、教職員、地域の方々など、多数の来場者が集う活気に満ちた学園祭となりました。

第45回摂大祭

テーマ「BIG WAVE」

10月12日(土)～14日(月・祝)
in 寝屋川キャンパス

※10月12日、13日は台風19号の影響により中止

摂大祭は、台風19号の接近により、来場者をはじめ教職員、学生などの安全を最優先し、1日目と2日目を中止しました。

天候が回復した3日目は、1日限りの大学祭となったものの全ての思いを込めて開催。メインステージでは、マジシャンのパフォーマンスやベストカップルShowなどを実施したほか、歌手の鈴木愛理さんによるスペシャルライブ、各課外活動団体による演奏や発表、PBL活動展示会など多彩なプログラムにより、大いに盛り上がりしました。

また、屋内ブースでは、スタンプラリー、アイロンビーズ・ミサンガ作りなど、小さな子どもでも保護者と一緒に楽しめる催しを実施しました。

前年に引き続き、本学が推進する持続可能な社会実現への取り組み「Smart Campus」の一環として、「摂大エコ&スマート大作戦(エコスマ)」も展開。模擬店では商品をリサイクル食器で提供し、トレー約6500枚分の廃棄物削減ができました。

音楽
パフォーマンスで
大いに
盛り上がりました!



第8回摂友祭

テーマ「楽しさ無限大∞」

10月14日(月・祝)
in 枚方キャンパス

ファイナリスト賞の
目録を手に
笑顔で記念撮影
(左から)塚田義典講師、
関さん、吉村さん

ダンス
パフォーマンスで
熱気のある
ステージと
なりました。



8周年を迎えた摂友祭は、「全ての参加者の皆さんに無限大に楽しんでほしい」の願いを込め、「無限大∞」と「8」をかけ、「楽しさ無限大∞フェス」と題して実施しました。

医療系企画では、北河内緩和ケア会主催・7大学連携個別化がん医療実践養成プラン共催で、緩和ケアに携わる看護師によるハンドマッサージと緩和ケアに関する相談会を実施しました。さらに、茨木保健所による「薬物乱用禁止啓発コーナー」と、ボランティア部じよいふるが枚方市保健所協力のもと「HIV 予防啓発活動」を実施しました。

新企画として、薬学部教員が中心となり、中・高校生を対象に本学薬草園の薬草を使った「薬草ハーバリウム作り」を実施し大盛況でした。さらに、ボランティア部の学生が老若男女幅広い年齢層の来場者が楽しめる企画を展開。「ちりめんモンスターを探せ」などのキッズコーナーには、前年を上回る約150人もの来場者がありました。



経営学科の学生2人が 「大学SDGs ACTION! AWARDS2020」の ファイナリスト賞を受賞



2月15日に東京・渋谷キューズで開催された「大学SDGs ACTION AWARDS2020」(朝日新聞社主催)最終選考に関勇輝さん(経営学科1年)と吉村怜さん(同)が出場し、ファイナリスト賞を受賞しました。このイベントは国連が2030年までの達成を目指している「SDGs」(持続可能な開発目標)の実現に向けて、大学生の独創的な企画を募集するもので、全国119件の応募から残った12チームが最終選考に臨みました。

本学は「高齢者を輝かせるAI(人工知能)活用法」をテーマにアイデアを発表。「高齢者と協力してAIを作るプラットフォームを構築することにより、新たな雇用の創出と認知機能の改善の一助になる」と発表しました。

外国語学部の 加藤由梨愛さんが 大阪天満宮 「天満天神えびす祭」の 招福娘に

1月9日から11日にかけて、大阪天満宮で行われた「天満天神えびす祭」で、招福娘の代表に選ばれた加藤由梨愛さん(外国語学科2年)が参拝客に吉兆を受けました。

加藤さんにとって大阪天満宮は大学受験時に合格祈願をした思い出の場所。それだけに招福娘に選ばれた時の喜びも格別でした。祭りの3日間、加藤さんは多くの参拝客に明るいつまみと福を届け、「招福娘の代表として、祭りを盛り上げたいという思いで3日間商売繁盛、合格祈願を願って来られた皆さまに心をこめて奉仕しました。地元大阪の商いの文化を伝える役割を担う良い経験ができました」と振り返りました。



参拝客に
吉兆を授ける
加藤さん

寝屋川 キャンパス

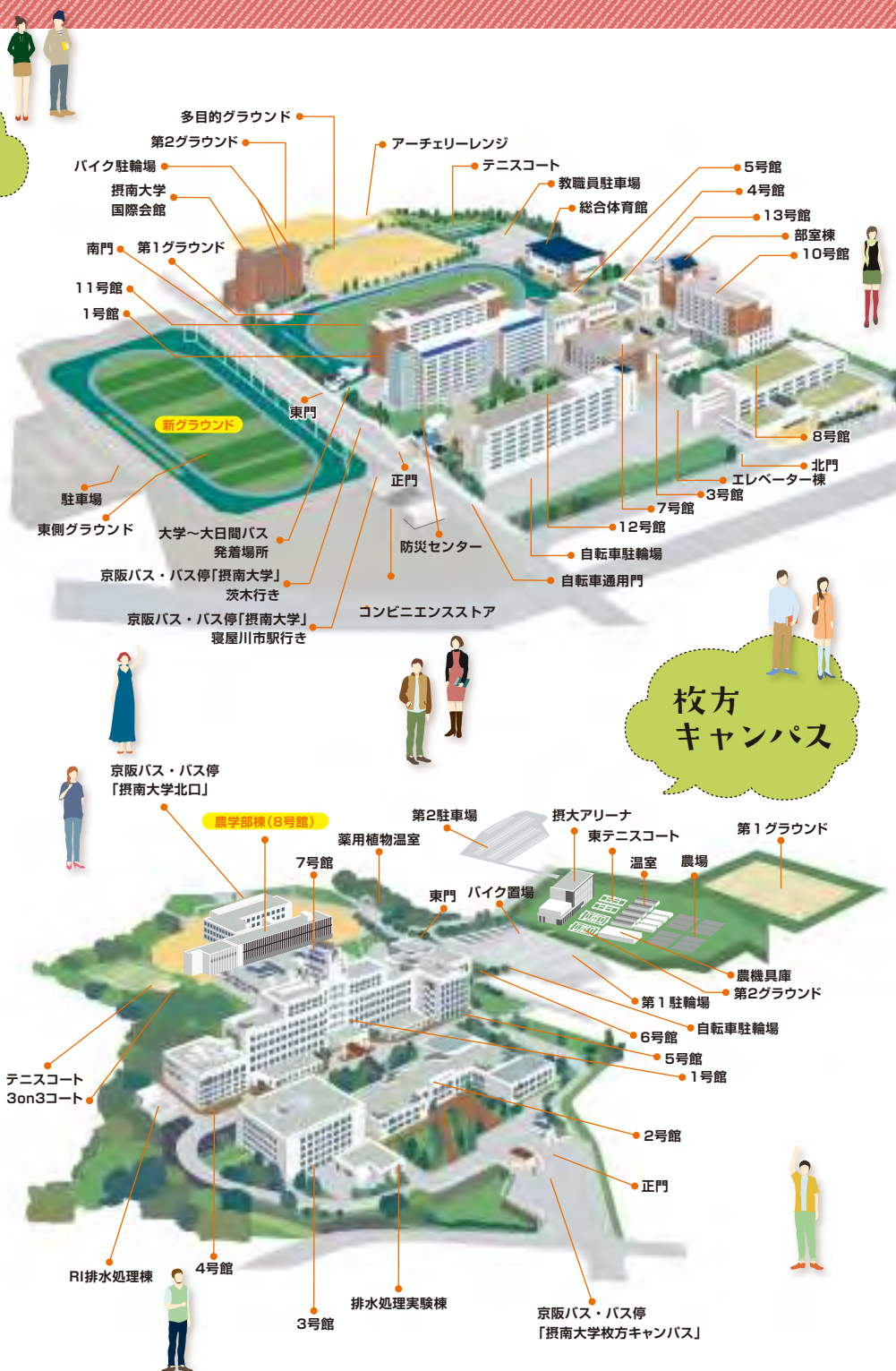
寝屋川キャンパス 新グラウンドが完成 新3号館・4号館も 来春新設

寝屋川キャンパスの正門前から南門前にかけての道路を挟んだ東側の敷地(3万7746.47㎡)に、3月末、新グラウンドが完成します。規模は現在の第1グラウンドと同規模です。また、4月からは同敷地内に部室やトレーニングルーム等を含めた2階建ての部室棟(仮称)の建設が始まります。この部室棟(仮称)の2階グラウンド側には観覧席を設けており、グラウンドを一望できます。

そのほか、現在の3号館・4号館は、老朽化に伴う建替計画として新たな校舎建築を進めており、4月に着工し来春完成を目指しています。新3号館・4号館の新築工事については、引き続き「さやけき」や大学ホームページなどで最新情報をお伝えしていきます。

枚方キャンパスに 農学部棟が完成

4月に開設する農学部の学び舎となる8号館が竣工しました。最新の施設や機器備品を整備し、ラーニング・コモンズや学生食堂のほか、農場や体育館、グラウンドも新設しています。



枚方 キャンパス

環境保全 Environmental Protection

寝屋川キャンパスにペットボトルツリーが点灯

昨年12月6日から約20日間にわたり、寝屋川キャンパスにペットボトルで作ったクリスマスツリーを設置、点灯しました。これは、キャンパス・クリーン・サポーター(C.C.S.:学内の環境改善に取り組む学生のボランティア団体)が、環境への取り組みに関する理解促進を目的として行っているもので、冬のキャンパスを彩る恒例企画となって

います。使用済みのペットボトル約2000本を使用してツリーを組み立て、16色に変化する電飾には消費電力を抑えたLEDを使用。夕暮れ時のキャンパスは幻想的な光で通り行く人の心を温めていました。

今回は点灯の際にオープニングセレモニーとして、ジャズクラブ同好会NOJがクリスマスの楽曲を演奏し、華を添えました。





Faculty of Law

法学部

実務家による特別講演会を開催

昨年10月31日、初年次教育の一環として、法学部1年次生を対象とした特別講演会を開催しました。講師には、本学客員教授である日比谷総合法律事務所の弁護士神垣清水氏を招き、「日産元会長事件と刑事司法実務の解析」をテーマに講演いただきました。

神垣氏による特別講演会は2014年度から毎年5月頃に開催しています。今年度は講演内容についてより理解を深めたうえで講演会での

学びにつないでいけるよう、4月からの半年間、法律学の基礎を学修した後となる10月に開催しました。

講演では、報道で大きく取り扱われている話題性の高い日産元会長事件が事例として取り上げられ、「刑事法を学ぶ者にとって最良のケーススタディ」として捜査手順について時系列で解説がありました。そのほか、最近起こった事件についての法律的視点による解説もあり、法学部初学者にとって「実際の社会で法律がどのように解釈されているのか」などがよく分かる内容でした。また、「新聞やテレビで報道される身近な事件を法学部の学生としての観点からみること」「常に法律的視点を持ち続けること」などの学びの姿勢についても話がありました。



講演会ポスター

講演終了後のアンケートでは、「ニュースを見ていて疑問に思ったことが今回の講義で理解できた」「ニュースをうのみにせず、法の視点から捉えることが必要だと思った」「知ら

ないことがたくさんあり、もっと学ばなくてはならないと思った」などの感想があり、今後、法律学をいかに学んでいくかを考える良い機会となりました。

大阪府警察本部見学会を実施

法学部には学生自らの発案で活動している学生組織「法学部企画運営委員会」があります。その活動の一つとして、公務員志望者が多い法学部生がキャリア選択に際して参考にできるよう、毎年、警察本部や検察庁などへの見学を実施しています。学生が企画立案し、参加者募集や先方との日程調整など実施に至るまで、全てを自らの力で行っています。

今年度は、2月7日に大阪府警察本部への見学会を実施しました。13人の参加者は、実際に庁舎内を見学、現場の方との質疑応答を通して、警察官という職業についてより一層理解を深めることができ、将来のキャリアについて考える貴重な機会となりました。



府警見学参加者募集ポスター

Faculty of Foreign Studies

外国語学部

学外のコンテストで優秀な成績

昨年10月19日に、日本中国友好協会第37回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会に参加した5人の学生全員が入賞を果たしました。

朗読部門:

優勝 木村佳乃さん(1年)

3位 相田千咲音さん(1年)

スピーチ部門:

準優勝 中本真菜さん(4年)

3位 山口正真さん(3年)

特別賞 高瀬恩さん(4年)



5人の受賞者たちと

学内コンテスト

昨年10月から12月に、各専攻言語でスピーチコンテストを開催しました。12月17日には、各部門入賞者の表彰式を行い、「英語」「スペイン語」「中国語」「インドネシア・マレー語」の各言語の優勝者が素晴らしいスピーチを披露しました。

海外実習報告会

昨年10月8日に、マレーシアのパハン大学で実施したインドネシア・マレー語専攻海外実習

(8月17日～8月29日)の報告会を行いました。



参加学生全員が現地での学びについて、写真や動画を交えて報告しました。

国際教養セミナー

昨年10月14日、「人々はなぜ旅をするのか」をテーマに国際教養セミナーを開催しました。美術史、地理学、観光学を専門とする講師が各テーマに沿った時代、場所、主体の異なる旅のあり方を取り上げました。

国際交流イベント

中国語専攻では毎年「ギョーザパーティー」を開きます。今回は9月24日に「水餃子(すいぎょうず)」を中国人留学生や教員の手も借りながら自分たちで作り、中国の食文化を手と舌で体験しました。



イギリスの劇団が『Macbeth』を上演

昨年10月1日に、イギリスの劇団「The Shakespeare Ensemble」が来校し、『Macbeth』を上演しました。公演とともに、総勢10人のプロの俳優

から身体表現や発声法を学ぶワークショップも開催し、延べ100人を超える学生が参加しました。

ANA インターンシップ

昨年9月2日、エアライン業界への就職を志望する2年次生を対象に関西国際空港で職場見学研修を行いました。この研修はANA総合研究所との連携講座の一環で実施しているプログラムで、学生たちはリアルな現場での研修を通して学びを深めました。



関西国際空港で見学

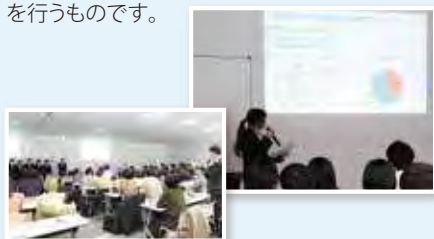
日本語教育実習

昨年12月2日から12日までの2週間、日本語教員養成課程を履修している4年次生が、国際交流センターの外国人留学生を対象とする日本語クラスで教育実習を行いました。実習前の11月には、大阪大学日本語日本文化教育センターの日本語授業を見学し、日本語教育の現場を体験しました。

経済学部

オリックス・バファローズ主催 「マーケティングプレゼン」で発表

昨年11月30日、郭進准教授ゼミ生6人(2年次)が阪南大学あべのハルカスキャンパスで開催されたオリックス・バファローズ主催の「マーケティングプレゼンテーション」で発表を行いました。これは、同球団と連携している7大学(本学・関西大・大阪商業大・阪南大・大阪体育大・天理大・和歌山大)が、球団や自治体関係者に対し、球場観戦などの戦略立案に関する提案を行うものです。



本学が発表したテーマは、「ダイナミック・プライシング※の導入効果」です。学生は、アンケートの調査結果に基づいて、ダイナミック・プライシング制に対する満足度と理解度に

影響を与える要因について報告するとともに、チケット販売時の告知効果を高めるための、地元ラジオ番組とのコラボレーションなどの提案を行いました。

※ダイナミック・プライシング:商品やサービスの価格を需要と供給の状況に合わせて変動させる価格戦略

ゼミ対抗プレゼンテーション大会

昨年12月21日、「ゼミ対抗プレゼンテーション大会(1年次～3年次生対象)」を開催しました。

学部の恒例行事にもなっている本大会に、今年度は計31チームが参加。3会場に分かれて、1年間学習した研究成果をリレー形式で発表しました。テーマは、地域経済循環や地方創生、観光産業の行方、さらには日本企業の海外進出に関するものまで多岐にわたりました。学生にとっては、日ごろの学習成果を人前で発表するいつもと違った緊張感を味わいながら、今後の専門学習への意欲を高める機会となりました。

卒業研究論文発表会

1月21日、4年次生による「卒業研究論文発表会」を開催しました。各ゼミの指導教員から推薦された6チーム(計10人)が参加し、発表を行いました。学生らは大学4年間の集大成として

作成した卒業論文を発表し、その内容について本学部教員・審査委員から評価を受けました。



最後に、最優秀賞・優秀賞の名賞受賞者が表彰されました。



イタリア・ミラノ研修を実施

2月10日～16日の7日間、イタリアのミラノ市で地域経済実践演習を実施しました。学部生11人が参加し、後藤和子教授と原田裕治准教授の引率のもと、イタリアの経済と文化を学びました。午前、本学協定校のIULM大学で講義を受講。現地学生と交流を深めたほか、午後からはミラノ市内の食、ファッション、デザイン関係の産業の見学やヒアリングなどのフィールドワークを行いました。



経営学部

小学生向け プログラミング教室を開催

経営情報学科

経営情報学科は寝屋川市の成美小校区地域協働協議会青少年部会との共催で、昨年8月7日・8日の2日間、小学生を対象にプログラミング教室を開催しました。寝屋川キャンパスCALL教室を会場に延べ24人の小学生が参加し、本学科の学生が教材の作成をはじめ、運営、サポートを行いました。

教室では、プログラミング言語の「Scratch(スクラッチ)」を使用したオリジナルゲーム作りを行いました。参加した小学生は最初、慣れないプログラミングに戸惑っていましたが、学生のサポートにより全員がアイデアを形にしてゲームを完成できました。参加者からは、「ゲームを自分で作ることができて楽しかった。来年も参加したい」「お兄さん・お姉さんが丁寧に教えてくれて参加してよかった」などの感想



がありました。学生たちにとっても、試行錯誤しながら小学生に接する中で人に教える難しさを知ることができ、良い経験になりました。

アギレラ中野和代氏を迎え、 特別講演会を開催 ～グローバル時代の ファッションビジネスを創る～

昨年10月29日、グローバルビジネスと女性のキャリア向上の理解促進を目的に特別講演会を開催し、約300人が聴講しました。

講師には、バッグデザイナーのアギレラ中野和代氏を迎え、「グローバル時代のファッションを創る」をテーマに講演がありました。中野氏は京都の生家で和装袋物の製造技術を学び、イタリア、アメリカでデザイナーとしてのキャリアを積んだ後、自身のブランド「KAZUYO NAKANO NEW YORK」を設立。同ブランドは全米各地、イギリス、中東、アジアにも市場を広げています。

講演会では、起業家としての中野氏の体験談を中心に、海外における日本女性経営者の活躍について話がありました。女性の社会進出や日本人による海外での事業展開があまり進んでいなかった80年代に単身海外へ渡り、成功を収めた後も、近年では環境保護や労働環境改善の観点から3Dデザインをはじめ、試作コスト軽減

に成功するなど、その決断力と行動力は、参加学生にとって大きな刺激となりました。

さらに、家業に受け継がれている高度な職人の技に新たな技法をプラスし、自らのブランドを立ち上げて世界的デザイナーへと躍進した活躍ぶりは、女子学生やいづれ家業を受け継ぐ学生にとって、大いに勉強となる内容でした。



ワガヤネヤガワ・ベンチャー ビジネスコンテスト 2019 で 部門賞を受賞

寝屋川市が市内の産業振興を推進する事業として、学生のビジネスプランを募集する「ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテスト」において、今年度、本学学生のプランが「協働部門賞」と「商業部門賞」を受賞しました。

協働部門賞

「寝屋川を元気にするネヤガーデン」

指導教員 経営情報学科 栢木紀哉教授

寝屋川市駅周辺で、気軽に立ち寄り、手軽



理工学部

卒業研究へのプロローグ 「研究基礎演習」の実施

生命科学科

生命科学科では、3年次後期から卒業研究を行う研究室に所属します。そこで、卒業研究に必要な研究の基礎を学ぶ「研究基礎演習」を3年次後期に実施しています。

本学科は14の研究室を設置しており、研究テーマや研究手法、研究対象となる動植物の種類也多岐にわたっています。そのため、必要な研究スキルも研究室ごとに異なります。本演習では、各配属先研究室において必要な実験手技の習得から始まります。例えば、培養細胞を扱う研究室では、無菌操作が可能なクリーンベンチ内における実験操作の練習などです。これら実験手技の習得に加えて、アクティブ・ラーニングの視点から、データの解析や取り扱い、研究倫理について、学生同士で実際のデータや事例をもとに検証し理解を深める取り組みも行っています。

本演習の学びは、「研究スキル」の習得だけではなく、「研究マインド」の育成にもつながります。大学院への進学以外に、医療・製薬・食品・環境分析分野などの研究職に従事した際にも役立つかと期待されます。



真剣なまなざしで実験操作を見学する学生

に楽しんで疲れを癒やせるピアガーデン形式の飲食店運営を企画。飲料のほか同市特産品を使った食べ物をメニューに加えるなど、地域資源を活用し、地元と商店街の活性化を目指すプラン。

商業部門賞

「シソのペーストで寝屋川市を活性化」

指導教員 生命科学科 居場嘉教講師

寝屋川市特産のシソを利用して作る「シソペースト」の販売を企画。何にでも合う万能な調味料として幅広い年代に食べてもらいやすく仕上げ、試食販売や大学の食堂、給食の献立などでの採用を働きかけるプラン。



卒業研究発表展などで学外活動！
「住環境デザインフォーラム」で
学内から発信！

住環境デザイン学科

昨年5月、岡山県真庭市で環境配慮建築を実体験する新入生研修旅行に始まり、2月に「第7回卒業研究発表展」を建築・デザインの中心地、本町ガーデンシティで開催するまでの約10カ月間、本学科の学生たちは積極的に学外で活動しました。

学内では、恒例の「住環境デザインフォーラム」を3回開催。7月に開催した通算13回目のフォーラムでは、岩田三千子教授の「日本建築学会賞」受賞と、川上比奈子教授の「日本デザイン学会年間論文賞」受賞を記念して講演会を実施しました。第14回は自然の力を科学的にシミュレーションしてデザインに反映させる先進的な建築家の末光弘和氏を招聘して、学生作品の講評会と講演会を開催しました。1月に開催した第15回では、「住生活演習」「空間情報演習」を受講する3年次生全員が、「Smart and Human研究助成金」に採択された「寝屋川市の災害と防災に関する意識調査」の結果を報告しました。大阪市立大学の宮野道雄名誉教授、寝屋川市まち政策部長の大坪信幸氏による講演も同時開催しました。



詳しくは、随時更新している
住環境デザイン学科
オリジナルサイトに掲載しています
<https://www.setsunan.ac.jp/~led/>



新入生研修旅行
(真庭市役所)

建築を学ぶ「教材」として 身近な製図室をリニューアル

建築学科

昨夏に実施された8号館の耐震改修工事にあわせて、製図室のリニューアルを行いました。製図室は、建築学科の学生にとって設計演習をはじめ多くの時間を過ごす身近な空間です。その身近な空間を「教材」と位置づけ、天井の仕上材を取り払い、建物の構造躯体である梁やスラブ、給排水管や空調ダクトなどの設備配管が見える状態にしました。さらに、耐震性能向上のために補強された鉄骨ブレース（筋交い）も壁の仕上材で覆わず、下地材



耐震補強のために
設置された
鉄骨ブレースの
ディテール

を含めてあらわにすることで、普段の生活ではなかなか見ることができず、理解しづらい内部構造を体感的に学べるようになりました。他にも、天井にコンセントやスポットライトなどが取り付け可能なダクトレールを新たに配置し、展示空間としての活用も検討しています。今後、リノベーションやストック活用はますます主流となることが予想されます。本学科では、今後も身近な「学び」を通じて、実社会とのつながりを大切にしていきます。



リニューアルした製図室で
製図演習に取り組む学生たち

大阪府都市整備部における 土木構造物維持管理の 講演会と現場見学会を開催

都市環境工学科

昨年9月12日に、1年次生64人と3年次生82人を対象に、土木構造物の維持管理に関する講演会と現場見学会を開催しました。午前の講演会では、包括連携協定先である大阪府都市整備部の協力を得て、都市基盤施設の現状や取り組み、土木構造物の維持管理について講演いただきました。質疑応答では、学生から積極的な質問があがっていました。午後からは、1年次生は「人と防災未来センター」「琵琶湖疏水記念館」の2班に、3年次生は「千里浄水池更新工事（新2号池）」「NEXCO総研緑化技術センター（研究開発等）」「うめきた開発（JR東海道支線地下化・新駅設置事業）」の3班に分かれて現場見学をしました。千里浄水池更新工事では、市民のライフラインである浄水道の安全・安心のための設備更新、構造物の耐震性強化のための更新工事を見学しました。学生は、受け入れ先の方々との積極的にコミュニケーションを図る中で、建設現場の魅力や社会に貢献する土木技術者の役割を肌で感じることができ、貴重な学びの機会を得ました。



大阪府
都市整備部からの
協力により
実施した講演会



各現場に分かれて
説明を聞く学生たち
(うめきた班)

薬学部

「薬学部グローバル講演会」を開催

昨年11月11日、グローバル教育の一環として、2年次開講科目「キャリア形成Ⅰ」においてグローバル講演会を開催しました。講師に米国ノースカロライナ大学のデニス・ウィリアムス准教授を招聘し、「臨床薬剤師の役割—米国における進化 (Evolution of the Role of the Pharmacist in the United States)—」について、講演いただきました。

質疑応答では、参加学生から日米の薬価の違いや薬剤師の所得収入の推移などに関する質問が出るなど、海外の薬学事情への高い関心がうかがえました。



「高齢者化粧教室」を開催

昨年11月12日、本学、大阪工業大、大阪歯科大、関西医科大学、枚方市、北大阪商工会議所、資生堂ジャパン(株)、(株)morondoで構成する「枚方産学公連携プラットフォーム」が、枚方市市民会館で「高齢者化粧教室」を開催しました。



このイベントは枚方市在住の60歳以上の高齢者を対象とするもので、30人の参加がありました。3年次開講科目「キャリア形成Ⅱ」を履修した薬学部生も、授業の一環として、講師の補助役を務め化粧の方法などをレクチャーしました。

参加者からは、「枚方市市民会館までどり着くか不安だったが、来た甲斐があった」「学生が頑張っていて、微笑みしかった」など、喜びの声が上がりました。さらに、お薦めの化粧品などについて参加者同士で意見交換する場面も見受けられました。

「高齢者化粧教室」終了後は、各大学が個別ブースを出展しました。本学からは、枚方事務局

が出展。薬学部附属薬用植物園で栽培したレモングラスから抽出したレモングラスティーを参加者に提供するとともに、「アンチエイジング効果のある健康飲料」についての説明を行いました。

受賞者続出！ 学会発表で頑張る学生たち

薬学部の人材養成に関する目標は「高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成すること」です。その目標を達成するには、自己研鑽に励み、授業・実習だけでなく、卒業研究にも取り組み、問題解決力を向上させることも不可欠です。

その成果は、学会などさまざまな発表の場での受賞という形で着実に表れています。

学会賞受賞者

- 第4回日本薬学教育学会大会
「学生優秀発表賞(ポスターの部)」受賞
田中 佑実さん(学部6年次)
金山 実沙さん(大学院3年次)
- 次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム2019
「優秀ポスター発表賞」受賞
中野 美穂さん(学部6年次)
- 第3回日韓若手薬剤学研究者ワークショップ
「Travel Grant Award」受賞
八木 晴也さん(大学院1年次)

看護学部

デジタルサイネージによる 掲示を開始

看護学部では、昨年10月にデジタルサイネージを導入し、学生への掲示方法をリニューアルしました。

これは、「試験、休講、補講および保健師課程、助産師課程などの多種にわたる告知をさまざま



な掲示物で確認しなければならず、煩雑で分かりにくい」との学生の声に応えたもので、7号館1階のエントランスに設置しています。学生は、登校時にその日の情報をタッチパネルで簡単に確認できます。さらに学部事務室からは遠隔操作によるダイレクト発信が可能となるため、よりスピーディでタイムリーな掲示ができるようになります。

3月までは紙での掲示も並行して行い、4月からは休講・補講をはじめとする学部情報や枚方キャンパス内のお知らせなどをデジタルサイネージでの掲示に移行する予定で、学生サービスの向上につなげていきます。

看護師で僧侶の 玉置妙愛氏を迎え、 公開講座を開催

看護学研究科では、昨年12月14日、枚方キャンパスのメディックスホールで公開講座を開催し、一般の看護職者の方、本学看護学部の学生や教員など約180人が聴講しました。

講師にはテレビなどのメディアにも多数出演し、「困ったら、やめる。迷ったら、離れる。」などの著者としても知られる看護師で僧侶の玉置妙愛氏を迎え、「まずは、あなたのコップを

満たしましょう～ケアする人の心のケア～」をテーマに講演いただきました。

看護師と僧侶の二つの肩書きを持ち活動することになった経緯や、現在の医療・社会問題を踏まえた上での在宅看護の重要性、在宅看護が進んでいる台湾の事例などの紹介があり、参加者は時折深く頷きながら熱心に耳を傾けていました。

さらに、玉置氏は育児中の方や要介護者を家族に持つ方など全ての「ケアする人」の心にも焦点を当て、自身の心のケア「自利」の大切さを説き、「堂々と自分の心を満たし、他者へのケアも満たしましょう」と締めくくりました。看護に携わる立場として、自身のケアについて考える良い機会となりました。



「ケアする人の心のケア」を説く玉置氏

農学部

2020年4月に開設する農学部には、全国の大学・研究機関等から、64人の専任教員が就任します。合わせて40研究室体制で、農学のさまざまな教育・研究、地域連携に取り組んでいきます。



←1月末に竣工した農学部棟となる8号館。4月の開設に向けて急ピッチで準備が進んでいます。

①2 農学部棟となる8号館外観 ③ 広々とした空間が広がる8号館内部 ④ 8号館中庭

農業生産学科 6研究室（講座制）

- 植物遺伝育種科学研究室
- 植物病理学研究室
- 作物科学研究室
- 応用昆虫学研究室
- 園芸科学研究室
- 生産生態基盤学研究室

応用生物科学科 6研究室（講座制）

- 植物分子生理学研究室
- ゲノム生物科学研究室
- 応用微生物学研究室
- 植物環境微生物学研究室
- 動物機能科学研究室
- 海洋生物科学研究室

食品栄養学科 16研究室

- 公衆衛生学研究室
- 臨床医学研究室
- 運動生理学研究室
- 調理学研究室
- 食品学研究室
- 食品加工学研究室
- 食品衛生学研究室
- 基礎栄養学研究室
- 応用栄養学研究室
- 栄養教育学研究室
- 栄養教育研究室
- 栄養薬理学研究室
- 臨床栄養学第1研究室
- 臨床栄養学第2研究室
- 公衆栄養学研究室
- 給食経営管理研究室

食農ビジネス学科 12研究室

- 農業経営学研究室
- 食料・農業政策学研究室
- 農業経済学研究室
- 地域マネジメント研究室
- 食料・農業市場研究室
- 食品産業研究室
- 農水産物・食品マーケティング研究室
- 食品流通研究室
- 食農共生研究室
- 環境農学研究室
- 食農教育研究室
- 持続型フードシステム研究室



「農学部開設記念シンポジウム」を開催

昨年10月19日、大阪工業大学梅田キャンパスで摂南大学農学部開設記念シンポジウム「食と農の未来を考える～次世代農業の視点から～」を開催しました。当日は農業従事者をはじめ一般の方、大学関係者ら約500人が参加しました。大阪府内唯一の農学部を開設する本学は、グローバルな視点で「食」と「農」に関する知識・技能を持ち、社会課題の発見とその解決に取り組める人材を育成します。

本シンポジウムでは、基調講演①「島耕作から見る日本の未来」で「島耕作」シリーズ作者の弘兼憲史氏が、日本の食料自給率の低さや農業の問題点、オランダが実践・研究

している先進的農業経営の必要性やスマート農業をはじめとした効率的な生産方式などについて自身の漫画を用いて紹介。「日本の大学生に農業を学んでほしい。農業が面白いことを国がもっとアピールすべき」と農業の可能性について話しました。続く基調講演②「SDGsを超える農学の可能性」では、日本農学会会長で石川県立大学学長の西澤直子氏が、「SDGs（持続可能な17の開発目標）」と農学との関連について話し、「飢餓を防ぎ、人々が



農業を中心とした日本の未来について話す弘兼氏

健康に暮らすために農業は欠かせない」と今後の食と農の発展の必要性を訴えました。基調講演後には久保康之客員教授（農学部長就任予定者）をコーディネーターに、4人のパネリストによるパネルディスカッションを実施。ITを駆使した新しい農業や企業での野菜飲料の開発談、今後のアグリビジネスの可能性などについて活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションでは食と農をテーマに議論

情報教育 支援

情報教育環境のさらなる充実を図ります

情報メディアセンターでは、教育・研究活動の支援をより一層促進するため、2020年4月に情報教育設備を最新の機器に更新するほか、無線LAN環境の充実も図ります。

■寝屋川キャンパス

第6・7情報処理室、CALL教室1にノートパソコン、可動式の什器、側面または後面にホワイトボード・プロジェクタを設置し、アクティブラーニング対応の教室とします。これにより、ICTを活用したグループワークや課題発表、ディベート学習などでの活用が可能になります。



CALL教室1のイメージ図

情報メディアセンター

■枚方キャンパス

農学部開設に伴い8号館2階に第3情報処理演習室(パソコン110台)、情報処理自習室(パソコン35台)を増設します。

■OS、Microsoft Officeを最新バージョンに

OSはWindows10に、Microsoft Officeは2019にと、それぞれ最新バージョンにアップグレードします。

■無線LANエリアを拡充

これまで、教室や図書館、食堂が中心だった無線LAN利用可能エリアを研究室フロアを中心に拡充します。

■eduroamに参加

2020年4月よりeduroam(エデュローム: Education Roaming)に参加します。eduroam参加機関で学会が開催された場合などに、本学の学生・教員は本学のアカウントで無線LANが利用でき、教育・研究に活用できます。

※eduroam: 大学などの高等教育機関や研究機関において、キャンパス・研究所の無線LAN環境の相互提供・利用を行うサービスのこと

Information
Technology and Media Center

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催!

昨年12月8日、理工学部生命科学科 松尾康光教授と住環境デザイン学科 川上比奈子教授が、独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」の採択プログラム「廃棄される自然からエネルギーをつくらうー捨てられる植物が光合成をしてLEDランプを灯す!？」サイエンスアート・ワークショップを開催しました。

15人の中学生が受講し、植物の光合成の過程で発生する酸素と水素を利用する「光合成バイオ燃料電池」(松尾教授の発明)と、その技術を活用してエネルギーを生む環境に優しい建築デザイン「光合成建築」(川上教授の企画)について学びました。実験コーナーでは、インテリア要素を加えた光合成バイオ燃料電池で動く時計「光合成Watch!」を製作し、自分たちで

デコレーションすることを通じて、自然と共生できる次世代エネルギーの仕組みを学びながら、最先端のサイエンスアートを体験しました。

ワークショップには両教授の研究室からそれぞれ8人、計16人の学生も加わり、実験のサポートなどを通じて受講者と和やかに交流を深めました。学生は「光合成Watch!」を入れるバッグのロゴと、そこに付けるタグのデザインも担当。タグにはそれぞれの受講者へのメッセージとスタッフ全員の名前を書き、クリスマスプレゼント風にラッピングして持ち帰ってもらえるよう企画しました。

今回のサイエンスアート・ワークショップを通して、受講者が将来研究者を目指すきっかけとなることを期待します。

研究 支援



配線の真っ最中。
自分で作った燃料電池の時計に「ほんとに動くかな?」



光合成エネルギーだけで動く「光合成Watch!」が完成



学生による「光合成Watch!」の
タグ&ラッピングデザイン

特集：就カツ

「就カツ」保護者セミナー開催



萩田 喜代一 学長



神田 耕吉 後援会会長

昨年12月1日、OIT梅田タワー（大阪工業大学梅田キャンパス）で「就カツ」保護者セミナーを開催しました。就職活動環境の変化に対応し、保護者による支援のあり方を理解する機会になることを目的に毎年開催しており、今回は150人を超える保護者の方々の参加がありました。

第1部

「『良い』就職活動とは？」

ー『売り手市場』での学生への関わり方ー

アクセプト代表で二松學舎大学 国際政治経済学部 国際経営学科 非常勤講師の金井健史氏を講師に招き、人材育成のエキスパートとして起業されている立場から、内定がゴールにならない「『良い』就職活動とは？」それを支えるご家族の関わり方などについて講演いただきました。



講演の内容

講師からのメッセージ

人生の大きな節目である就職に対して、自ら“行動し、学び、気付き、決断”しようと取り組むことで自信が培われ、人生の基盤も形作られていく。十分に検討し決断した経験は、困難を乗り越える力にもなる。まずは、自分の持ち

味を知り（自己理解）、人に伝えられるようになること。そして、幅広い職種（仕事）や業種（会社）に関するリアルな情報を、自分の目と耳と足で得て比較検討すること。その上で、今後の人生について自分なりの意思決定ができれば、納得性も高まる。就職をゴールとせず、その先を見据えた妥協しない就活で、社会人になっても成長し続けてください。



家庭での支援

- 傾聴（安心できる関係性で） ●ポジティブなフィードバック（“自分が思う自分のイメージ”以外に“周りから見える自分の良い面”を一つでも多く見つけられるように） ●問い掛け（問い詰めるのではなく思考を深めるために） ●励まし勇気づける ●“介入”は大人の不安解消に過ぎないので避ける

「正解がなく思い通りにならないことが増える就活」を前向きに、妥協せず取り組めるように関わりを持つことが重要です。

第2部

内定学生・卒業生との懇話会

保護者の皆様からの質問に、内定学生（薬学部と看護学部は卒業生）が自身の経験に基づくリアルな声として回答しました。

就職部職員からは、就活スケジュール、就職部で実施している支援概要、進路実績（就職率・内定時期・進路先の主な業種や職種や企業名など）について報告しました。

※例年、薬学部と看護学部の学生は国家試験直前時期でもあり参加協力が困難な状況のため、今回初めて卒業生の協力を得て懇話会が実現しました。

学生・卒業生の体験談から

Q 就活を始める前の思いは？

- 兄を見ていて大変そうだなと思った。
- 不安や焦りが大きかった。

Q 就活の流れは？

（きっかけ、インターンシップ参加状況、本エントリー数、選考内容、就職先の決め手など）

- 入学前から漠然と夢を抱いていたが、2年次で参加したインターンシップを通じてさらに志望度が高まった（文系）。
- インターンシップに参加し、自分の向き不向きが分かったので、当初希望していた業界と違う業界の選考を受けた（理系）。
- 教職を目指していたが、卒業研究をする中で研究職に就きたいと思うようになり、大学院進学を決めた（理系）。
- 企業探しの手段としては、ナビサイトでの情報収集や合同企業説明会参加、先生や就職部からの紹介のほか、学生同士で情報交換をすることもあった。
- 実習や研究との両立については、3年次12月頃まで実験実習で忙しいが、その頃からの就活でも間に合う。説明会や選考参加についてはぜひ教員に相談するとよい（理系）。
- テレビドラマに影響を受け希望した職種。就職先の選択に当たっては、実習・インターンシップを含めて5病院で実際の職場を体験し、将来のキャリアプランを十分に検討して決めた（薬）。
- 面接で深掘りした質問をされることが多く驚いた。「好きな歌手について面接官にも魅力が分かるようにプレゼンを」といった質問も（文系）。



- 学生時代に頑張ったこと、研究内容、専門科目ほかの勉強について深く質問された（理系）。
- 一つの業界に絞って活動していたが全部不合格となり、年収や福利厚生、人事担当者との話から最終決定した（エントリー約30社、面接15社）。
- 部活と就活の両立は大変だったが、ここでやらなければ後悔すると思い、必死で頑張った。

Q 家族との関わりは？

- 学生本人が一番不安でプレッシャーを感じているので、必要以上に触れないでいてくれるありがたい。
- 選考がうまくいかず落ち込んでいたときに、自己PRの内容を聞き、アドバイスをしてくれた。
- あまり干渉せず、相談したいときに話を聞いてくれた距離感が良かった。
- 自分の考えを肯定し後押ししてくれたことが支えになった。
- 大事な面接の前に父親が電話をくれることもあり、勇気づけられた。
- 金銭面、食事面でのサポートは素直にうれしかった。



参加者からの声

- 就活にまで親が干渉するものなのかと思っていたが、時代とともに変化があり、子どもに対する関わり方が理解できたように思う。
- 最近の学生の就職に対する本音が聞けて大変良かった。
- 今まで就職部の担当者との懇話会だったが（薬学部・看護学部）、卒業生からの話は身近に感じられた。

協力してくれた内定学生・卒業生 17人

■法律学科 井上 紋佳さん、川野 晴基さん ■外国語学科 池上 和也さん、清水 悠菜さん ■経済学科 伊藤 花乃さん、文村 勇太さん ■経営学科 川島 幸雄さん ■経営情報学科 浅田 朋美さん ■生命科学科 黒瀬 瑠太さん、小串 祥子さん ■住環境デザイン学科 柚木 美沙さん ■建築学科 西野 拓仁さん ■都市環境工学科 小川 麻希さん ■機械工学科 東 敬太さん ■電気電子工学科 林 恭太郎さん ■薬学科卒業生 山下 裕介さん ■看護学科卒業生 遠藤 茜さん



内定生

兵庫県・加古川市役所

法学部 法律学科
松本 勝稀さん

学内のサポートを受け、 万全の準備で臨めた公務員試験

教養科目の「教育社会学」の授業で、貧困などにより教育の機会を奪われている子どもたちの存在を知り、「子育て支援に携わりたい」と考えるようになりました。さらに、幅広い業務を通して暮らしを支える市役所の仕事に魅力を感じ、志望しました。一般企業にも選択肢を広げたいと考え、4月から7月初旬まで毎日のように説明会や面接に参加。その後すぐ教育実習と公務員試験が続いた時は本当に忙しかったです。試験勉強を3年次の4月からと早めに始めていたこと、4年次は限られた時間で集中して取り組んだことが実り、無事試験に合格。個人面接、グループディスカッションを経て9月の最終面接で内定をいただきました。資格サポートセンターの「公務員対策講座」では、「何から勉強を始めればよいか」などの初歩的な相談から、具体的な試験問題や面接対策までサポートしていただき、不安なく試験に臨めました。就職後は持ち前の笑顔を活かして、加古川市を日本で一番の街にできるように努力していきたいです。



内定生

日本航空株式会社
客室乗務員職

外国語学部 外国語学科
妹尾 南さん

少人数ゼミでの先生の指導や 仲間との関係が支えになりました

学生時代に海外への留学や旅行を経験し、日本のサービスの素晴らしさを実感。就活で自己分析を重ねる中で「思いやりを持って行動できる自分の長所を活かしたい」、特に質の高いサービスが求められる客室乗務員として「日本のおもてなしの心を届けたい」と考えるようになりました。中でも、運航の路線網・便数とも世界でも有数の規模を誇る日本航空で、多様な経験を重ね成長していきたいと考え志望しました。

私の所属ゼミでは、担当の中島直嗣教授から毎週ビジネスニュースなどについて多様な視点からの解説があり、物事を多面的に見て深く考えることを学ぶことができました。さらに、就活が始まると、毎週それぞれの状況を先生に報告しアドバイスをいただいていた。とても心強く、人間的にも成長できた期間になりました。就活には葛藤や焦りがつきものですが、自分のしたいことを明確にして自分を信じて取り組むことで、必ず結果はついてくると信じています。



内定生

雪印メグミルク株式会社

理工学部 生命科学科
黒瀬 瑠太さん

大学での学びで得た「自分の軸」を 仕事を通じて発展させたい

生命科学科の「機能性食品科学」の授業で、生活習慣病の増加とともに健康志向が高まる中、「食」を通じて病気を予防する高付加価値食品に注目が集まっていることを知り、興味を持ちました。雪印メグミルクは乳製品の機能性を追究し、高い整腸作用や内臓脂肪減少作用などを持つ製品を提供されています。また、乳製品は厳しい管理が必要であることから、持ち前の誠実さと勤勉さを活かして工場における品質管理や安定供給を担いたいと考えました。他にも、生物学や環境科学を学ぶ中で環境問題への興味が高まり、就職先の選択や面接の際に役立ちました。

このように「自分の軸」を作れたことは、将来に向けた財産にもなると感じています。皆さんも、就活では焦ったり落ち込んだりしがちですが、自分の軸を大切に、自分のペースで就活に向かっていってください。そして、うまく行かないことがあれば試行錯誤を重ね、後で振り返った時に完全燃焼できたと思える就活にしてください。応援しています。



内定生

積水ハウス株式会社

理工学部 建築学科
野田 千晶さん

温もりのある家づくりを目指し チャレンジを続けます

私は高校生の頃まで何事にも消極的で、人前で話すのも苦手、部活でも友達の後ろに付いて行くような性格でした。建築学科に入ってまず驚いたのが、発表や意見交換を行う機会の多さでした。初めての設計演習の発表ではイメージ通りに話せなくて、作品に込めたこだわりも伝わらず悔しい思いをしました。それを機に「苦手意識を克服しよう!」と決意。しっかりと原稿を用意し、発表義務がないときも積極的に発表して意見をもらい、他の人の発表からも良い点を学んで実践するうちに、段々自信が持てるようになりました。以来、さまざまなことに進んでチャレンジするよう心掛けてきました。今回、就職が進学が悩んだとき、「積水ハウスでは社内コンペなど成長の機会、チャレンジが続けられる環境がある」と知り、「ぜひこの会社で働きたい」と意志が固まりました。

学生生活の中で何が就活や将来につながるかわかりません。皆さんも何事もできないと諦める前に、まずはぜひいろんなことにチャレンジしてください。



内定生

富国生命保険相互会社

経済学部 経済学科
今田 智大さん

選考の各段階で十分に準備し、 自信を持って臨めれば結果につながる

在学中に父が病気になり生命保険の重要性を実感。生命保険に携わりたと思うようになりました。特に、富国生命は理念や歴史、商品に一貫して“人のためにある”という姿勢を感じました。就活では複数の内定をいただきましたが、実は途中大きな壁にぶつかりました。原因は準備不足と就活を甘く見ていたこと。持ち前の明るさで大半の選考が順調に進んでいたものの、富国生命の最終面接ではその甘い部分を見事に見抜かれ、全く自分を出せませんでした。自身の弱さを痛感、就活に対する意識が大きく変わりました。内定は諦めていたのですが、人事部長のはからいにより私の思いに耳を傾けてくださることになり、改めて面談の機会をいただきました。その結果、無事内定をいただくことができました。

皆さんも準備を怠らず確固たる自信をもって就活に挑んでください。就職部のイベントには絶対参加を。困ったときはどんどん相談に行きましょう。新卒での就職という人生に一度きりのチャンスをぜひものにしてください。



内定生

株式会社
テレビ大阪システム

経営学部 経営情報学科
嶋村 龍介さん

番組制作や緊急時の情報発信で 世の中に貢献していきたい

「より多くの人のためになる仕事をしたい」との思いから、たくさんの人たちを楽しみをもたらす、災害時にはライフラインとなる情報の発信も行う、テレビ番組の制作・放送業務に携わりたいと考えました。テレビ大阪システムは、テレビ番組やCMなどを番組表通りに送出し監視するマスター業務、EPG（電子番組表）の作成や字幕制作などの放送準備業務など、テレビ放送の心臓部ともいえる役割を担っています。

就活の面接時に、授業で培ったプログラミングやホームページのデザインなどの経験を大きな強みとしてアピール。さらに、自己分析を行うために大学生活を振り返って、さまざまなエピソードを文章化し何度も見直しました。就職部でもエントリーシートを添削していただき、志望動機を掘り下げることができました。その結果、選考の過程では一貫して自信を持って自らの考えを話すことができ、内定への確かな決め手になったと感じています。



内定生

大阪医科大学附属病院

薬学部 薬学科
今在家 優衣さん

患者さまの心に向き合った実務実習、 その経験が就活にも活かされました

私が大阪医科大学附属病院を志望した理由は、第一に治験業務をはじめとする幅広い業務を通して、薬剤師として多様な知識と技能を習得していけると感じたからです。さらに、マンツーマンで指導を受けるプリセプター制度などの充実した教育プログラムと、専門薬剤師や認定薬剤師の資格を持つ多くの先輩方の存在が大きな励みになると感じました。

大学の授業では、5年次の病院での実務実習の経験が薬剤師を目指す上でかけがえのない糧となりました。ただ薬の説明をするだけではなく、さまざまな病状や生活背景を持つ患者さまと、いかに信頼関係を築けるかが大切だと実感。一方的に話すのではなく、患者目線に立つことを意識し表情を確認しながら端的に説明することを心掛けました。面接での質疑応答にも、このときの経験が大いに活かされたと思います。就職後も患者さま一人ひとりに寄り添い、薬以外のことも相談してもらえるような信頼される薬剤師を目指していきたいです。



内定生

市立ひらかた病院

看護学部 看護学科
駒井 玲亜さん

看護師としての目標を見出せた 看護の現場での学びの機会

看護の現場での実践を通して学ぶ臨地実習では、自分が働く姿をイメージでき、患者さまとの出会いの中で多くを学びました。さらに、2・3年次の夏休みと春休みには複数の病院見学会とインターンを経験。それぞれの病院の特徴や雰囲気を肌で感じ、目指したい看護のあり方について考えを深めることができました。「看護師として患者さまに寄り添う気持ちを大切に働きたい」。そう考えていた私は、市立ひらかた病院の看護局が掲げる「心あたたまる看護の提供」の理念に深く共感。実習でも、育児不安のある母親の気持ちを少しでも軽減するために傾聴や助言に力を入れておられたりと、理念を実践されている場面を数多く経験しました。細かく丁寧に指導いただき、自分で考える時間を取ってくださるなど成長していける場だと実感できたことも合わせ、志望の意志が固まりました。皆さんにも、就職先として興味のある病院で早めの見学やインターンを経験されることをお勧めします。

保護者のための教育懇談会

2019年度秋期教育懇談会を開催

2019年度秋期教育懇談会(摂南大学後援会主催)を昨年10月から11月にかけて、本学会場、学外9会場で開催しました。本学会場(寝屋川)は台風の影響で中止となりましたが、各会場合わせて302組410人の保護者および保証人の皆さまにご参加いただきました。

今後も教育懇談会を通じて保護者の方々と大学との架け橋となる活動を行ってまいります。

■2019年度開催会場(年間)

●春期教育懇談会

本学会場(寝屋川・枚方)

●秋期教育懇談会

本学会場(枚方)

学外会場(福井・京都・梅田・奈良・和歌山・岡山・米子・高松・福岡)

※本学(寝屋川)は、台風の影響により中止



全体説明会



就職相談

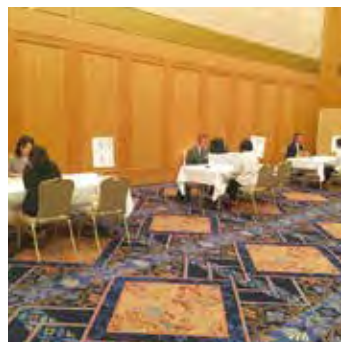


個別懇談

教育懇談会とは

摂南大学後援会では、ご家庭と大学の連携の一つとして、学部学生の保護者および保証人を対象に教育懇談会を春と秋の年2回開催しています。

教育懇談会では、教員との個別懇談の機会を設けております。教員は事前にご子女と面談し、日頃の学修の状況などを把握したうえで懇談に臨んでいます。また、教育懇談会は、ご子女が在籍している同じ学部学科の「保護者同士の交流の場」としての意味も有しています。参加された保護者からは「同じ悩みを持った保護者と情報交換でき、大変参考になった」と感想が寄せられています。今抱えている問題や心配事、質問などがございましたら、ぜひ、この機会をご活用ください。



個別懇談



自由懇談

本学ホームページ 後援会サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html>



京都

1年次の時に初めて参加し、先生や保護者の方々と話をしているところと知らなかったことを聞くことができたので、今回も参加しました。個別懇談では、子どもの学校での様子、成績や今後の就職活動への取り組みなど、サポート面についてたくさんのお話を聞くことができました。自由懇談では、同じ学部で先生、異なる学年の保護者の方々と日頃の子どもの様子や就職活動などについて歓談でき、参考になりました。

奈良

個別懇談では、普段話さない子どもの様子、学習意欲や出席状況などを教えていただきました。コース選択時に、自信のない子どもに前向きな言葉掛けなどをしていただけており、そのおかげで懇談時に成長した子どもの姿を教えてくださいました。今では、不安を抱きながらも前向きに取り組む様子に成長を感じます。教育懇談会に参加したことで、先生方に温かく見守っていただいていることを知ることができました。

福井

6年次にして初めて、福井会場に参加させていただきました。後援会や大学の今後の展望など広報誌では得られない貴重なお話を聞くことができました。個別懇談では、担当の先生から大学での子どもの学習環境や研究成果を聞くことができました。さらに博士後期課程進学にあたり金銭面や目指す方向性などを確認でき、不安が解消しました。自由懇談会では、和やかに懇談でき感謝しています。地方にいる親として貴重な時間をいただきました。

保護者の皆さまからのご感想

参加された保護者の皆さまからの寄稿の一部を紹介します。

和歌山

地元で開催されるということで、初めて参加させていただきました。入学して、一人暮らしを始め、生活に不慣れなうえに、勉強が難しく、ついていくのが大変だと子どもに聞き、心配しておりました。個別相談では、担当の先生に授業の出席状況や授業科目の選択方法など教えていただきました。苦手科目の学習サポートについても説明していただき、安心しました。大学生活、大学での取り組みや行事などのお話が聞け、遠い存在だと思っていた大学を身近に感じることができました。

岡山

単位取得、出席状況などの学修上の問題、学生生活など子どもの様子を先生からとても丁寧に説明していただきました。また、学修面のみならず、子どもの人間性についても安心できるお言葉をいただき、安堵しました。これからもさまざまな学びを得て、友人や先生方との出会いを糧に、人として大きく成長してくれることを願いつつ、親としてできるだけのサポートをしていきたいと思ひます。

梅田

春期教育懇談会に続き、秋期教育懇談会にも参加しました。今回の懇談会では、学外会場ということもあり、担当の先生との懇談ではありませんでしたが、質問に対し大変親切にお答えいただきました。その後の懇親会では、他学年・他学部の保護者の方とお話ができ、有意義な時間を過ごすことができました。来年もまた参加します。

奨学金説明会日程

	奨学金の種類	対象学部・研究科	年次	日時	場所
学部	日本学生支援機構奨学金 (貸与制・在学採用)	理工学部・外国語学部	全年次	4月6日(月) 12:40~13:10	寝屋川キャンパス 551教室(5号館5階) 【所属学部の説明会に出席できない場合は他学部の説明会に必ず出席してください】
		法学部・経営学部・経済学部		4月8日(水) 12:40~13:10	
		薬学部・看護学部・農学部		4月6日(月) 12:40~13:10	
	高等教育の修学支援制度 (日本学生支援機構 給付奨学金・ 授業料等減免) (給付制・在学採用)	理工学部・外国語学部	全年次	4月9日(木) 12:40~13:10	寝屋川キャンパス 551教室(5号館5階) 【所属学部の説明会に出席できない場合は他学部の説明会に必ず出席してください】
		法学部・経営学部・経済学部		4月10日(金) 12:40~13:10	
		薬学部・看護学部・農学部		4月8日(水) 12:40~13:10	
	学内一般奨学金 (給付制)	理工学部・外国語学部	2~4年次 (薬は 2~6年次)	5月19日(火) 12:40~13:10	寝屋川キャンパス 551教室(5号館5階) 【所属学部の説明会に出席できない場合は他学部の説明会に必ず出席してください】
		法学部・経営学部・経済学部		5月20日(水) 12:40~13:10	
		薬学部・看護学部		5月19日(火) 12:40~13:10	
大学院	日本学生支援機構奨学金 (貸与制)	理工学研究科・経済経営学研究科・ 法学研究科・国際言語文化研究科	全年次	4月1日(水) 15:10~15:40	寝屋川キャンパス 1122教室(11号館2階)
	学内奨学金 (給付制)	薬学研究科・看護学研究科		4月3日(金) 11:00~11:30	枚方キャンパス 432教室(4号館3階)

注1:説明会に出席しない方は、出願資格がありません。出席できない場合は、事前に学生課(枚方事務室)までご連絡ください。ただし、アルバイト等の理由は原則認めません。

注2:貸与制は、卒業後返還が必要です。給付奨学金であっても成績不振・大学処分を受けた場合等、返金を要求する可能性があります。

注3:摂南大学学生海外留学規定により留学中の学生は、ポータルサイトの案内を確認してください。

注4:奨学生の募集等に関する学生向けの連絡はポータルサイトにより行います。見落とし等は各自の責任になりますので、毎日確認を習慣づけてください。

奨学金説明会の開催教室・日時を変更する場合もポータルサイトにより行います。

注5:高等教育修学支援制度の収入基準については、日本学生支援機構ホームページ内の「進学資金シミュレーター」をご確認ください。

(<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>)



リクルート

「進学ブランド力調査2019」の 関西エリア「志願したい大学」ランキングで 14位に急上昇

2020年3月卒業予定の高校3年生を対象とする、「進学ブランド力調査2019」(リクルート進学総研調べ)の「高校生の『志願したい大学』(関西エリア)」ランキングにおいて、本学が14位(昨年度21位)にランクインしました。

さらに、「男子」「女子」「文系」「理系」の各項目においても、昨年度に比べて順位が上がりました。

男子

摂南大学 16位→15位

女子

摂南大学 37位→15位

文系

摂南大学 28位→13位

理系

摂南大学 23位→12位



順位	昨年順位	学校名	区分
1	1	関西大学	私
2	2	近畿大学	私
3	3	大阪市立大学	公
4	4	同志社大学	私
5	7	立命館大学	私
6	6	関西学院大学	私
7	5	神戸大学	国
8	8	大阪大学	国
9	9	龍谷大学	私
10	10	大阪府立大学	公
11	12	京都産業大学	私
12	11	甲南大学	私
13	13	関西外国語大学	私
14	15	京都大学	国
14	21	摂南大学	私
16	17	大阪教育大学	国
16	14	兵庫県立大学	公
18	24	京都橘大学	私
19	26	神戸学院大学	私
19	18	同志社女子大学	私

学園および本学の取り組みにご支援をお願いします!

常翔学園 創立100周年記念募金

2022年、常翔学園は創立100周年を迎えます。

これを記念し、摂南大学が今後とも持続的に発展を遂げ、将来に向けて大きく飛躍するため、下記の記念事業を計画しています。皆さまのご理解ご支援を賜りますようお願いいたします。

摂南大学の推進事業の種類

キャンパス整備事業

プロジェクト支援事業

課外活動支援事業

学校運営支援事業

奨学金充実事業

- ①摂南大学学生支援プロジェクト
- ②災害時医療支援力を高める地域創生プロジェクト
- ③Smartキャンパス整備プロジェクト



募金に関する情報

<http://kifu.josho.ac.jp/setsunan/>



「さわけき」とは

「さわけき(清けき)」は、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さわけき摂南の」の詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

表紙の人



本学で学ぶ外国人留学生たち。掲げているのは「こんにちは=Hello」を意味する自国の言葉です。

・写真左から
カク プンケイさん(法学科3年)、
張 麗麗さん(看護学専攻1年)、
ジェシカ ナディア フィトヨさん(都市環境工学科1年)、
ゴルグル ブラックさん(外国語学科1年)、
グエン クアン アンさん(経営情報学科1年)、
ツイドラキ ヴィリアミ ヒライナシカさん(法学科2年)
(本誌P2・3でも紹介しています)

Smart and Human

摂南大学

■ 法学部 ■ 外国語学部
■ 経済学部 ■ 経営学部 ■ 理工学部
■ 薬学部 ■ 看護学部 ● 大学院

2020年4月
農学部
開設

発行日: 2020(令和2)年3月10日
 発行: 摂南大学 学長室 企画課
 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
 TEL: 072-839-9450
 URL: <https://www.setsunan.ac.jp>